

第2回

記帳学習会を開催

「簿記は難しい」

12月15日、午後1時半から民商事務所で、「第2回記帳学習会」を開催し、女性3名が参加しました。

今回は、「仕訳」「総勘定元帳」「試算表」について学習をしました。



黒板を使い説明をする青木県連事務局長(右奥)

最初に青木県連事務局長から「今はパソコンで入力すれば、簡単に残高試算表も出てくるが、昔は、仕訳から全部手書きでやっていた。試算表が出来るまでの仕組みがどうなっているかということ勉強するには、手書きで作っていった方が理解しやすい。会計ソフトの中でやっている作業を今日は実際に手でやってみましょう」と話しました。

第1回目の復習をした後、実際に仕訳の練習を振替伝票で25問ほど行い、今度はその振替伝票でおこしたもののから、総勘定元帳へ表す作業に移りました。

現金や普通預金などの総勘定元帳を作り、一つ一つ確認しながら相手勘定科目や金額を書いていきました。そして、その総勘定元帳を基に残高試算表を作ると、このようになると完成した



総勘定元帳へ実際に記入している参加者

残高試算表の中身を説明しました。

参加者は、この残高試算表を見ながら「役員借入を返済した時は、どこの部分が減るのか」「収益はどう計算したら数字が出るのか」などの質問が出されました。「難しいね」と次回第3回学習会の日程を決めて解散となりました。

第3回 記帳学習会のご案内

日時
場所
講師

1月12日(土) 午前9時30分から
村上民商事務所
青木県連事務局長

※参加希望の方は、
民商へご連絡を。

